



平成 29 年 6 月 9 日  
第七管区海上保安本部

問い合わせ先  
第七管区海上保安本部  
海洋情報部海洋調査課長 梅田  
093-321-2931 (内線 2530)

## 自律型海洋観測装置による海洋観測を実施しています

第七管区海上保安本部では、平成 28 年度から航海安全情報の収集と提供を目的として、自律型海洋観測装置 (AOV) による気象および海象情報の観測を行っております。今年度からは海洋権益に資する精密最低水面の調査も行っています。

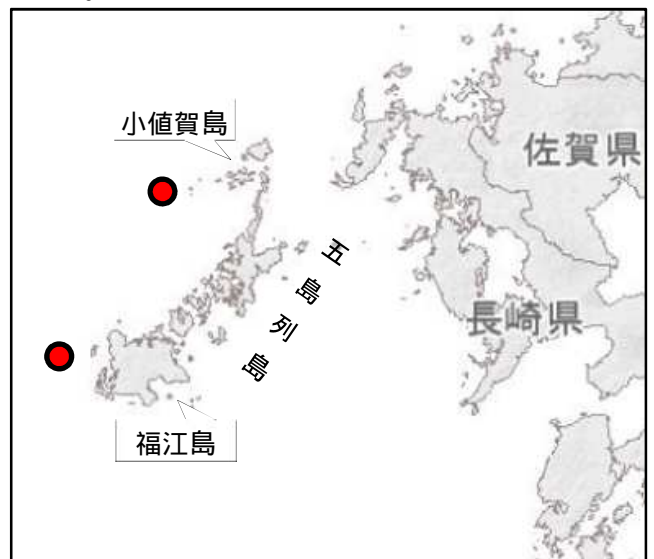
(注) AOV : Autonomous Ocean Vehicle

### 1. 概要

海上保安庁では、平成 28 年度から航海安全情報の収集と提供を目的として、AOV による海象および気象情報の観測を行っております。この度七管区では、平成 29 年 6 月 6 日から長崎県五島列島の小値賀島西方で AOV「とらふく 1号」、および福江島西方で「とらふく 2号」により観測を実施しています。

また、今年度からは海洋権益に資する精密最低水面の調査も行っています。

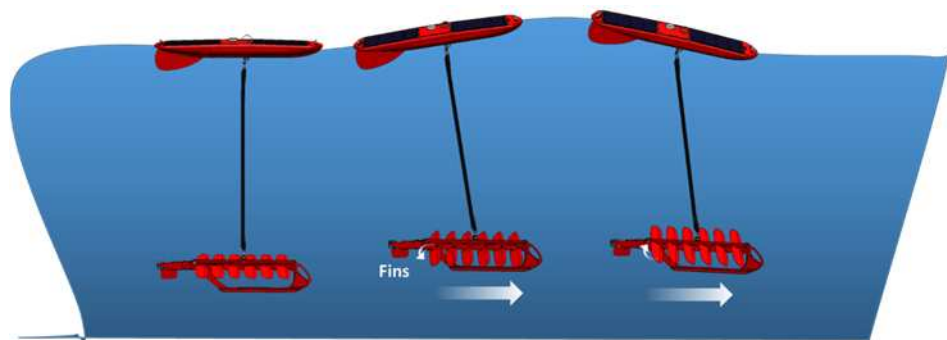
観測データ (海潮流、水温、塩分、波浪、風、気温、気圧) は、七管本部海洋情報部のホームページにてリアルタイムに公開しておりますので、たくさんのアクセスをお待ちしております。



### 2. AOV とは

AOV とは、太陽光発電や波の力を用いて無人で長期の海洋観測が実施できる環境に優しい観測機器です。

(AOV 移動原理イメージ)



### 3. アクセス方法

第七管区海上保安本部海洋情報部ホームページ

URL: <http://www1.kaiho.mlit.go.jp/KAN7/top.htm>

### 4. 過去の広報資料

「とれたての海の情報をお届けします！」(H28.8.3)

「海の今がわかるようになりました。」(H28.10.28)



問い合わせ先  
 第七管区海上保安本部  
 海洋情報部海洋調査課長 今木  
 093-321-2931 (内線 2530)

平成28年10月28日  
 第七管区海上保安本部

## 「海の今」がわかるようになりました。

～ AOV 観測データの公開 ～

第七管区海上保安本部では、先月18日に「自律型海洋観測装置（AOV）（注）」を海上へ投入し、継続的・長期的な海象及び気象情報の観測を開始しました。  
 このたび、観測データをホームページ上で公開する準備が整いましたのでお知らせいたします。  
 （注）AOV：Autonomous Ocean Vehicle

### 1. 概要

先月18日、七管区保有 AOV「とらふく1号」を五島列島西方海域において投入し、本格的な観測を開始しました。今月4日には台風18号が最接近しましたが、荒波にもまれながら無事に波高、風速等観測データの取得を続けることができました。

（別添資料参照）

観測データは、七管区海上保安本部海洋情報部のホームページにて公開しておりますので、たくさんのアクセスをお待ちしております。

### 2. データ公開日

10月28日

### 3. アクセス方法

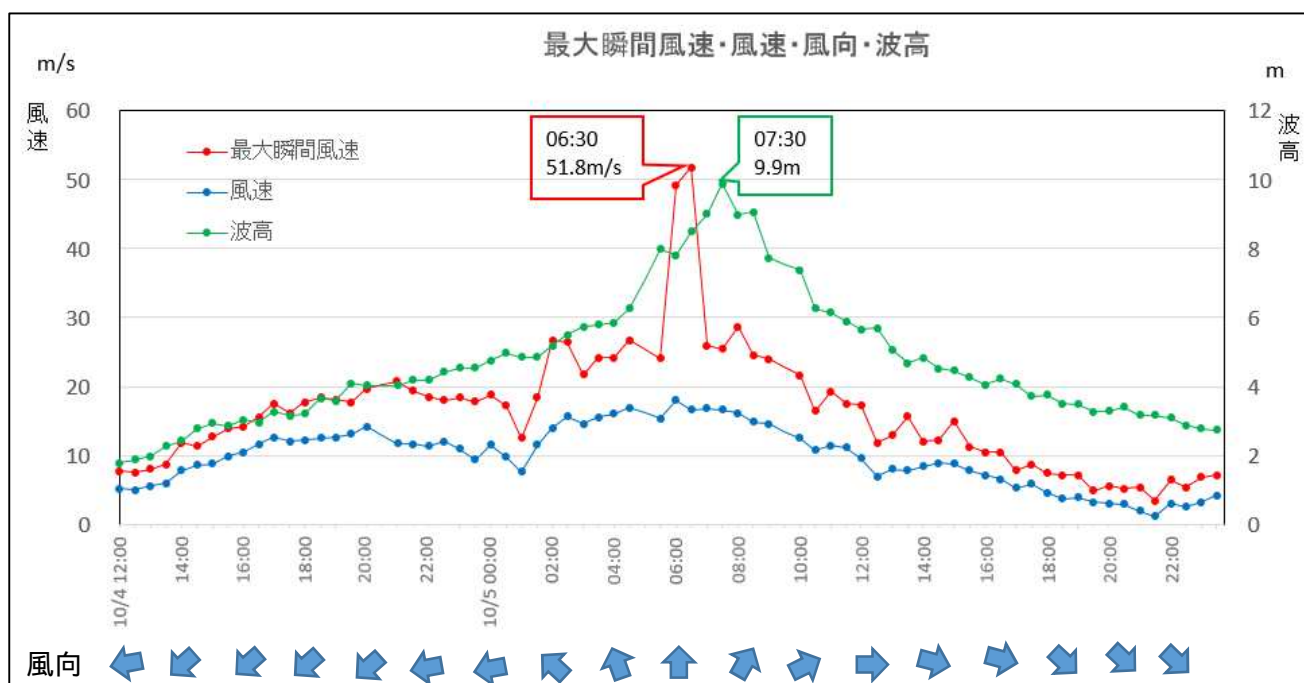
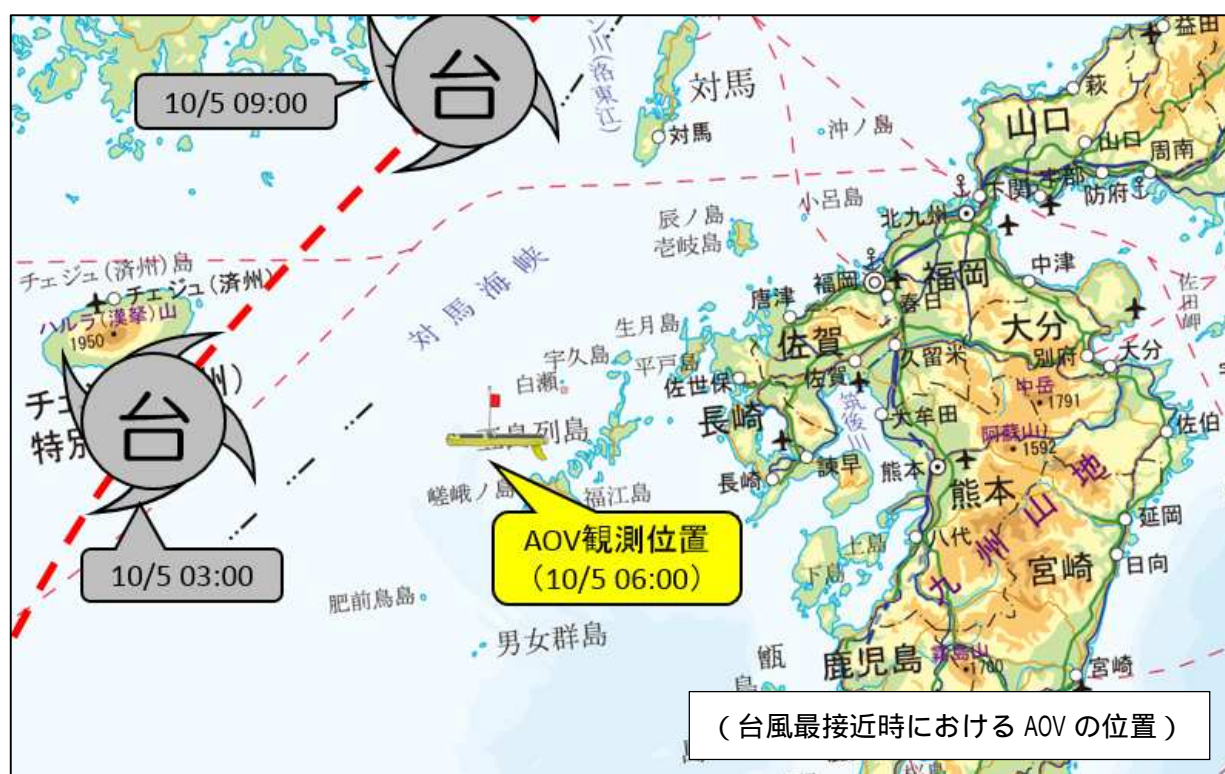
第七管区海上保安本部海洋情報部ホームページ

URL: <http://www1.kaiho.mlit.go.jp/KAN7/top.htm>



### 4. 過去の広報資料(H28.8.3 「とれたての海の情報をお届けします！」)

台風18号 九州接近時(10月4日~5日)のAOVで観測した記録(風速、風向、波高)



問い合わせ先  
第七管区海上保安本部  
海洋情報部海洋調査課長 今木  
093-321-2931 (内線 2530)



第七管区海上保安本部  
平成28年8月3日

## とれたての海の情報をお届けします！

～ 船舶の安全・経済運航及び漁場の探索等に利用できます ～

第七管区海上保安本部では、「自律型海洋観測装置(AOV)(注)」を導入し、継続的・長期的に海象及び気象情報を観測することで、航海安全のための基礎情報をリアルタイムに提供します。

AOVは、太陽光発電や波の力を用いて無人で長期の海洋観測が実施できる環境に優しい観測機器です。

(注) AOV : Autonomous Ocean Vehicle

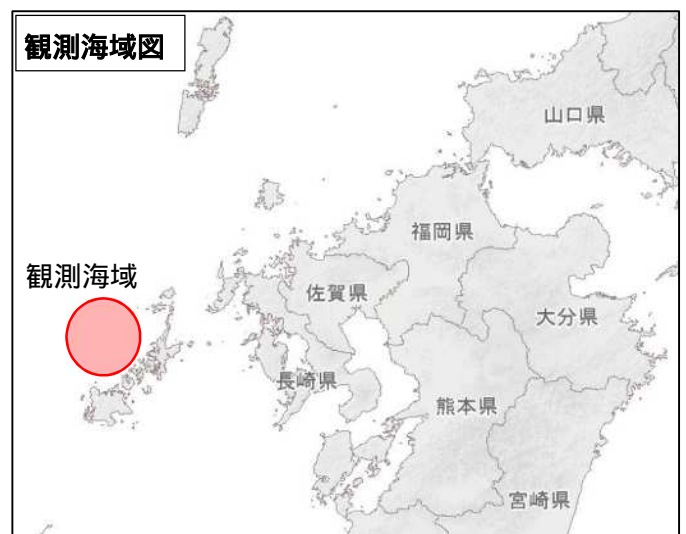
### 1. 観測のねらい

船舶の運航や漁業、マリレジャーなどにおいて、海上での安全を確保するには、海況(主に海潮流)、風、波浪の様子を把握することが重要ですが、陸上で実施する観測とは異なり、海洋では主に通航船舶の観測データにたよっているため、常にデータが不足しているのが現状です。

そのため、海上保安庁では、海潮流、海水温、波浪、海上の風や気温・気圧といった“海の情報”を継続的・長期的に取得できるAOVを導入することとしました。

AOVでの観測により、人が現地に行くことなく海上の状況を24時間連続的に把握することが可能であり、観測データをリアルタイムにインターネットを通じて提供することで、経済的で安全な航海に寄与することが期待されます。

観測開始は本年9月上旬を見込んでおり、観測結果は、当管区ホームページで提供する予定です。

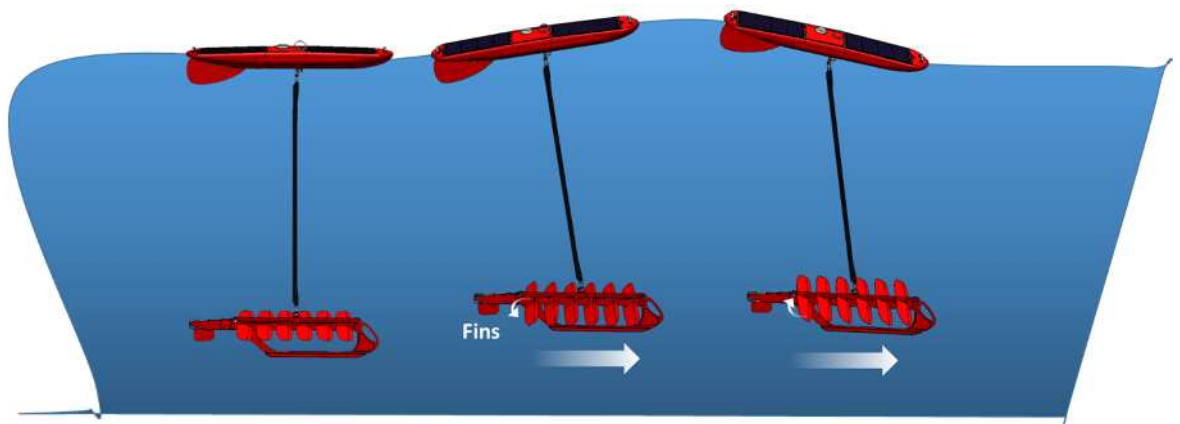


## 2. AOV とは

AOV とは、波の上下動を動力源として移動し、観測機器や通信に使用する電力は太陽光発電から供給するため、このような名称としています。これらの特徴から、これまで船でしかできなかった観測を、生物や環境への影響なく長期に行うことができます。

また、AOV は陸上から遠隔操作や観測データの転送を衛星通信により可能としており、24 時間リアルタイムに気象・海象データを得ることができます。

### AOV 移動原理イメージ



### 仕様

- ・ フロート寸法 305cm × 81cm × 23cm
- ・ 水中グライダー寸法 213cm × 142cm × 21cm
- ・ 重量 約 150kg
- ・ 観測項目 海潮流、水温、塩分、波浪  
潮位、気温、気圧、風向風速
- ・ 安全対策 標識灯 (LED 発光)  
レーダーリフレクター  
船舶接近時自動回避  
陸上からの衛星を通じた監視
- ・ 平均移動速度 約 1.3Kn (約 2.4km/h)

### AOV 構図

